

建設産業情報（最近の動向）  
（2013年2月1日～28日）

在外公館名 在サウジアラビア日本大使館

記入日 2013年3月2日

1. 現地の建設工事に係る経済情報  
特になし。

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向（改正等がなければ記入不要）

特になし。

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	リヤドのキングハーリド国際空港の既存ターミナル改修事業のマネジメント事業を、Aecom（米）が72百万ドルで落札した。このマネジメント事業には少なくとも7社が応札しており、他の応札者はPersons（米）、仁川国際空港公団（韓）、Hill International（米）、Dar Al-Handasah（レバノン）、Halcrow（英）などである。	5日 <b>MEED</b>	なし
2	ランドブリッジ鉄道事業に関し、詳細設計を行う業務の入札が近いうちに行われるとサウジ鉄道（SAR）の関係者が語った。	5日 <b>MEED</b>	なし
3	水電力省は、リヤドの上水道、飲料水供給、上下水処理場の建設など合計9億6千万ドル相当のプロジェクトを承認した。リヤドでは昨年に128案件11億ドル相当が支出されている。水電力省は今年度64億ドルを予算計上、水公社も1億3,300万ドルのジッダの貯水プラントに着工している。	5日 <b>Bloomberg</b>	なし

4	ジッダ市当局は、Aecom（米）にジッダ市の都市開発コンサルタント業務を1千万ドルで発注した。	6日 MEED	なし
5	マッカ市当局は、マッカ市都市交通事業のコンサルタント事業の入札案内を指名業者に送付した。指名業者による応札期限は3月2日である。マッカ市都市交通事業の目玉は、総事業費165億ドルのマッカメトロである。	12日 MEED	なし
6	海水淡水化公社（SWCC）は、ラービクにおいて世界最大の海水淡水化プラントを建設することを発表した。海水淡水化容量は60万トン/日で、2014の工事着工を目指す。サウジでは現在、全世界で行われている海水淡水化の約2割に相当する水を生産している。また、今後15年の間に約4百万トン/日の海水淡水化容量の増加を予定している。	12日 MEED	なし
7	リヤド開発庁（ADA）は、リヤドメトロ事業の入札締切りであった2月20日までに、3つのコンソーシアムからビッドを受け付けた。	24日 MEED	なし
8	水公社（NWC）の発表によると、同社の水道管漏水対策により、2009年から2012年の間に15億立方メートルの水を節約することができた。	25日 エクティサ ディア紙	なし
9	サウジとバーレンのコーズウェイ関連当局は、両国を結ぶ鉄道事業のFSを開始することで合意した。本鉄道事業の予算規模は42億ドルと予想されている。FSは2014年末の終了を目指して進められる予定（ア紙）	26日 アラブニュー ース紙	なし

#### 4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

特になし。